

科目番号	科目名			英語名	
HE39003 HE40123	臨床実習			Clinical Practice in Laboratories	
標準履修年次	単位数	開設学期	曜日	時限	使用教室
3 年	医療科学主専攻：7 国際医療科学主専攻：3	秋 BC 学期 秋 C 学期	月～金	全日	附属病院等
担当教員（研究室・連絡先・オフィスアワー）					
小池 朗（4B-404, PHS 90950） 上妻行則（4B-217, PHS 91507） 他					
学習目標					
医療の現場を支える臨床検査技術と医療人としての職業倫理観について、大学病院と関連医療機関において習得する。 特に、検査システム、検査技術、検査結果の評価、安全管理などを理解するとともに、他の医療職との連携（チーム医療）の重要性を体感し、医療の現場における臨床検査技師の使命について学ぶ。					
使用言語（ ☒ してください）： ☒ 日本語・ ☐ 英語・ ☐ バイリンガル					
授業概要					
実習期間（予定）：2017 年 12 月～2018 年 3 月（正式な期間は後日周知する） オリエンテーション 日時：12 月 8 日（金）15：00～ 場所：4B 209 内 容：以下Ⅰ～Ⅲの3部構成とする。 Ⅰ. 客観的実技能力評価試験（Objective and Structured Laboratory Examination：OSLE） ：臨地での実習前に、習得が必須な事項について実技試験を実施する（1～2 日間）。 Ⅱ. 臨地実習 ：以下の検査技術に関して病院内で実習を実施する（医療科学主専攻 10 週間、国際医療科学主専攻 5 週間）。 （1）生理機能検査・画像検査学実習、（2）血液検査・輸血学実習、（3）病理組織学実習、 （4）生化学成分分析・免疫検査学実習、（5）病原微生物学実習、（6）遺伝子検査学実習、 （7）診療科における臨床検査 Ⅲ. 生体機能情報交流ワークショップ ：生体機能情報をテーマに、茨城県立医療大学 3 年生（放射線技術科学科、理学療法学科）と合同で 実技実習を含んだワークショップ形式のプログラムを実施する（4～5 日間）。					
単位取得要件	単位付与必須要件： 1）原則全出席、および、2）各部門でC以上の評定。				
使用教科書・教材	各部署で指定されることがある。				
成績評価	個人レポート、指導教員、技術指導技師からの評価などを総合的に評価する。 実習前に実施する OSLE、茨城県立医療大学 3 年生との生体機能情報交流ワークショップも評価対象である。				
【注意事項】 ・ 医療現場に実習生として出るのにふさわしい服装や言動をとるように十分配慮すること。 ・ 現場での指導者（技師、技官など）に敬意を払い、密に連絡を取り、常に目的意識と責任感を持って、参加型の実習となるよう努力すること。 ・ 患者と接する際には適切な対応を常に心がけること。 ・ 安全に十分留意し、検査結果や患者属性などは個人情報であることを認識し、これを守秘すること。 ・ 指定されたワクチンの接種、学生保険の加入などを実習前に必ず済ませておくこと。					